

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成23年6月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

●需要面・・・個人消費は、持ち直しの動きがみられる。

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(3月)

新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(4月)

●産業面・・・鉱工業生産は、弱い動きの中にも持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。主要業種生産指数でみると、食料品・たばこ、電気機械が前月を上回ったが、電子部品・デバイス、一般機械は下回った。(3月)

●雇用面・・・雇用情勢は、一部に弱い動きがみられるものの引き続き改善傾向にある。

きまって支給する給与は前年を上回り、所定外労働時間も前年を上回った。(3月)

求人倍率は、新規は前月を上回ったが、有効は下回った。新規求人数は前年を上回った。(4月)

○需要面の動き

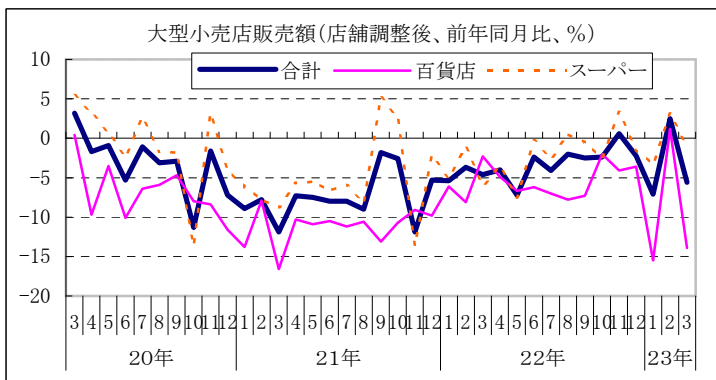
大型小売店販売額(3月)

全店舗の販売額は、47億8,300万円(前年同月比6.5%減)と2か月ぶりに前年を下回り、店舗調整後でも前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	478,300	▲6.5	(▲5.6)
百貨店	154,700	▲13.9	(▲13.9)
スーパー	323,600	▲2.4	(▲1.0)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(3月)

40億6,000万円(前年同月比5.2%増)と2か月続けて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(4月)

854台(前年同月比45.4%減)と8か月続いて前年を下回った。普通車、小型車及び軽自動車の全ての区分で前年を下回った。

新設住宅着工戸数(4月)

235戸(前年同月比24.3%増)と2か月続けて前年を上回った。持家系(前年同月比33.9%増)、貸家系(前年同月比8.5%増)ともに前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(4月)

13億2,800万円(前年同月比39.5%減)と2か月ぶりに前年を下回った。用途別では、製造業(前年同月比812.4%増)等で前年を上回ったが、医療・福祉(前年同月比28.6%減)等で前年を下回った。

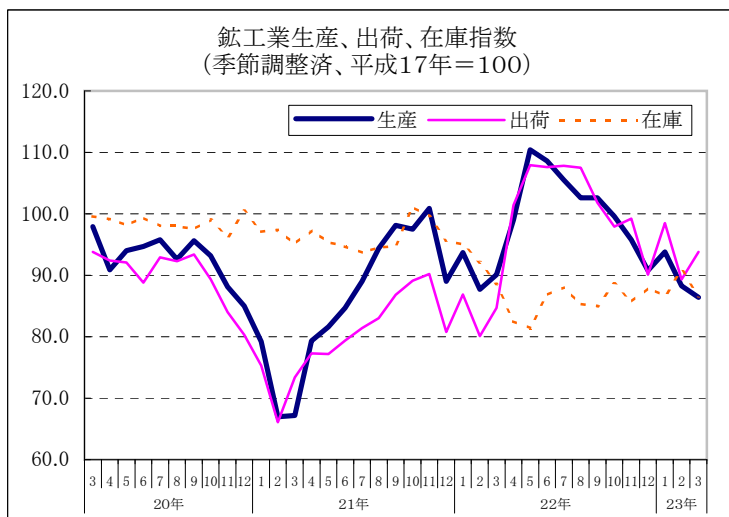
公共工事請負金額(4月)

78億7,700万円(前年同月比17.6%減)と10か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比7.1%減)、県(前年同月比36.0%減)及び市町村(前年同月比3.9%減)等で前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(3月)

生産指数(季節調整済)は86.4(前月比2.2%低下)と2か月連続の低下となり、原指数も92.3(前年同月比4.1%低下)と4か月ぶりの低下となった。内訳を前月比でみると、食料品・たばこが13.1%上昇となり3か月連続の上昇、電子部品・デバイスが14.8%低下となり3か月ぶりの低下、電気機械が17.1%上昇となり3か月連続の上昇、一般機械が23.2%低下となり2か月ぶりの低下となった。在庫指数(季節調整済)は86.6と前月比4.6%低下した。



大口需要電力実績(3月)

121,934kwh(前年同月比8.3%減)と6か月続いて前年を下回った。鉱工業用の大口需用電力を主要4区分で見ると、パルプ・紙及び機械の区分で前年を下回ったが、それ以外の区分では前年を上回った。

青果物卸売量(4月、鳥取市場)

野菜が1,534t(前年同月比7.7%増)と4か月続けて前年を上回り、果実は657t(前年同月比2.3%増)と9か月ぶりに前年を上回った。

漁獲量(4月、境港)

11,720t(前年同月比25.3%増)と4か月続けて前年を上回った。

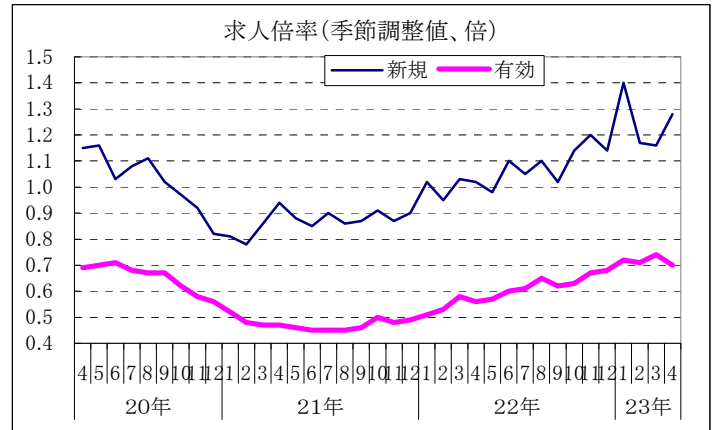
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(4月)

1.28倍(前月差0.12ポイント上昇、前年同月差0.22ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,957人(前年同月比15.0%増)と9か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(4月)

0.70倍(前月差0.04ポイント低下、前年同月差0.15ポイント上昇)となっており、4か月続けて0.7倍台となっている。



現金給与総額(3月)

241,064円(前年同月比0.9%増)と2か月続けて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、237,776円(前年同月比0.1%増)で2か月続けて前年を上回った。

所定外労働時間(3月)

8.7時間(前年同月比1.1%増)と16か月続いて前年を上回った。主力の製造業は2.8%増となった。産業別の前年同月比では、教育・学習支援業(前年同月比39.3%増)等で前年を上回り、生活関連サービス業・娯楽業(前年同月比47.1%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(3月末)

預金残高は、1兆9,934億円(前年同月比1.7%増)と27か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,482億円(前年同月比0.6%減)と23か月ぶりに前年を下回った。

○参考

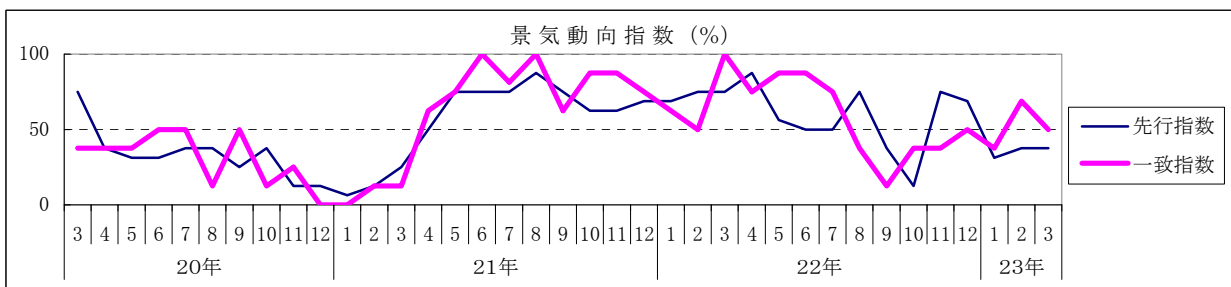
鳥取県景気動向指数(3月)

先行指数37.5%、一致指数50.0%、遅行指数66.7%となった。

先行指数は3か月続けて50%を下回った。

一致指数は2か月続けて50%以上となった。

遅行指数は3か月ぶりに50%以上となった。



企業倒産(4月)

件数は1件で前年に比べて4件減少(前年同月比80.0%減)となり、負債総額は4億円で前年に比べて3億4,300万円減少(前年同月比46.2%減)した。

消費者物価指数(4月、鳥取市、総合、平成17年=100)

98.8となり、前月比(0.1%)は上昇、前年同月比(0.4%)も上昇となった。

鳥取県の推計人口(5月1日現在)

585,199人で、前月と比べて217人(0.04%)増加し、前年同月と比べて3,341人(0.57%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成23年5月調査)

平成23年4~6月期は、平成23年1~3月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもが不調となっている。

平成23年7~9月期は、平成23年4~6月期に比べると、景気が横ばい、売上高がやや好調、経常利益がやや不調となる見通しとなっている。